源　流

第２０９号　　教育長　　儘田　文雄

「言葉の力」を中核とした学校づくり⑪

「子供との信頼関係」を深める

◆ 教師が子供との信頼関係を築くには、何より**「学ぶ意欲がわく授業」**を行うことが重要です。

「はむらの授業指針」のうち、「子供の視点－学ぶ意欲がわく－」の5項目を重視した授業の積み重ねが、子供との信頼関係を深めます。

◆ その上で、日頃の**人間的な触れ合いに基づく心温まる指導**や、**子供の内面を共感的に理解しながら話を聞き、共に考え歩む教師の姿勢**が子供の心を打つものと考えます。

子供の不正に対しては、その行動に至った背景を十分に把握した上で、**愛情のこもった毅然とした説諭**を行うことが、当該の子供だけでなく、他の子供との関係性の構築につながります。

◆ なお、個々の教師と子供との関係は、教師集団に対する信頼の上に成り立っています。体罰や不適切な指導等の服務事故をなくすだけでなく、**子供から学び成長し続ける教師集団、様々な危機に際し、校長を中心に迅速に対応する機動的な組織**をつくることが肝要です。

成功の原理

実業家　渋沢　栄一

一度従事した仕事は、これを完成するまでは、止めぬという心掛け、すなわち忍耐力が肝要である。かくのごとき辛抱ありて、多年の経験を積んでこそ、はじめて成功の人となり得るのである。

出典：「渋沢栄一　一日一言　人間力を高める言葉」（致知出版社）

※　離職率が高まっている現代こそ、改めて注目したい言葉です。